

第06号

2016年
6月15日



Safety Mail

● 滋賀県警察本部交通企画課 ●

県内の交通事故発生状況

《平成28年5月末現在の人身事故》

〈高齢者の事故〉

※高齢者…65歳以上をいう

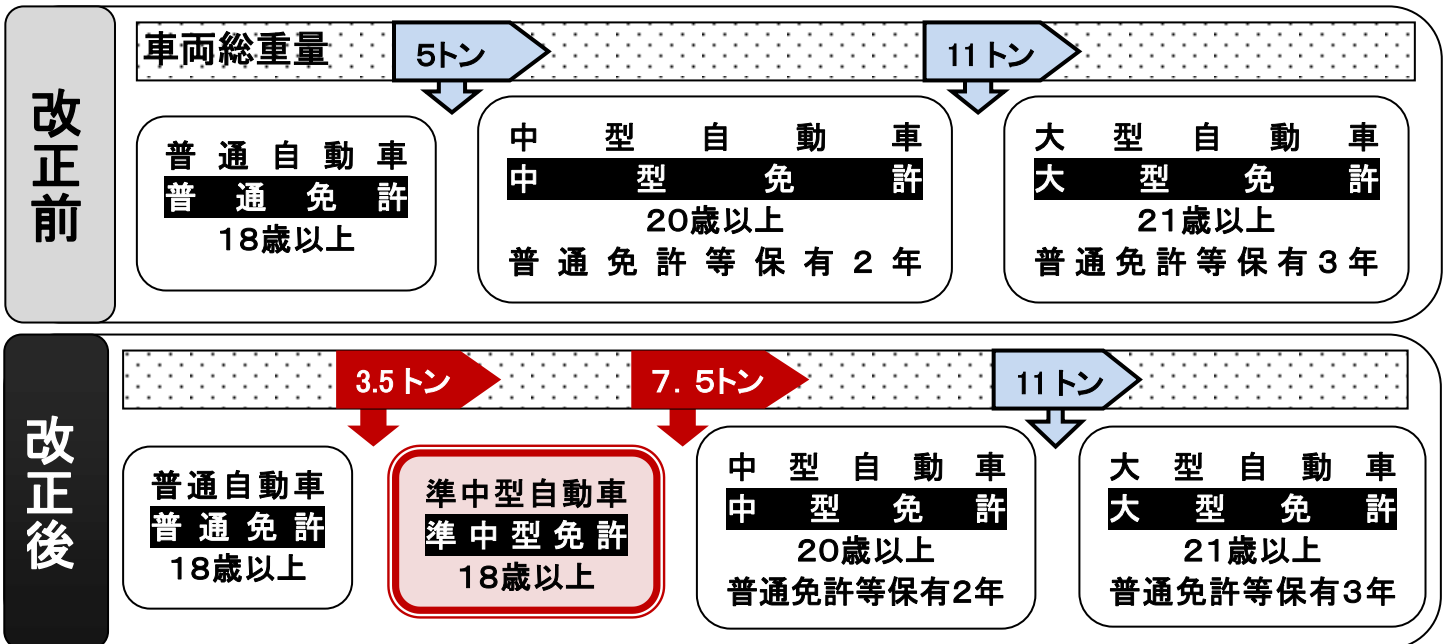


	件数	死者	傷者
本年	2132	26	2665
前年	2499	40	3245
増減	-367	-14	-580

	件数	死者	傷者
本年	580	13	351
前年	637	18	442
増減	-57	-5	-91

準中型自動車・準中型免許の新設

～平成29年3月施行予定～



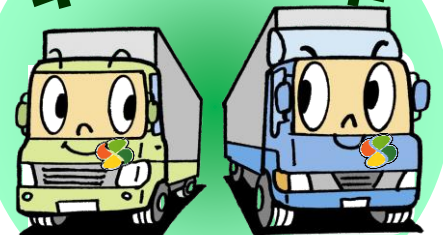
※車両総重量等の車体の大きさについては、今後、道路交通法施行規則で必要な規定が整備される予定です

- 準中型免許は普通免許を持っていなくても、**18歳から**受けることができます。
- 準中型免許を受けてから1年以内に違反行為をして一定の基準に該当するときは、**再試験**を受けなければなりません。
- 準中型免許を受けた方で、期間が通算して1年に達しない方については、**初心者マーク**の表示義務の対象となります。



現行の普通免許は、車両総重量5トンまでの限定が付された準中型免許とみなすこととされています。

準中型自動車



自分のための みんなのための 新しいルール

～ 道路交通法一部改正について～



平成29年3月施行予定

75歳以上の高齢運転者の方は…

3年ごとの免許更新時の場合

講習予備検査(認知機能検査)

記憶力・判断力について…

低く
なっている

少し低く
なっている

心配ない

違反をしなくても医師の診断書を提出!

違反をしたら臨時の検査を受検。認知症のおそれがあれば診断書を提出

一定の違反で臨時検査の場合

75歳以上の運転者

↓
臨時の検査

記憶力・判断力について…

低く
なっている

少し低く
なっている

心配ない

↓
医師の診断

認知症

↓
免許
取り消し
など

認知症
でない

↓
臨時高齢者講習
(前回より結果悪化した場合)



運転に必要な記憶力・判断力を確認して交通事故を防止するために

満75歳以上の高齢運転者が免許の更新を受けようとするときは、高齢者講習のほか、講習予備検査(認知機能検査)を受けていなければなりません。

検査結果から、記憶力・判断力について「低くなっている」「少し低くなっている」「心配ない」の3分類に分類され、検査結果に基づいた講習が行われます。

現行制度では3年ごとの免許更新時の検査で、記憶力・判断力が「少し低くなっている」、「心配ない」と判定されれば、違反をしても次の更新まで講習予備検査(認知機能検査)を受ける必要がありませんが、施行後は全ての75歳以上の運転者が一定の違反をすれば、臨時の検査を受検しなければなりません。



車内の温度上昇 に気をつけて!

さて、この時期になると毎年気になるのが、車内温度と室内放置による熱中症事故です。車室内の温度上昇については、外気温に対してかなり過酷な状況になります。

子供やペットを車内に残すと危険です!

事業所内に掲示するなど、多くの方々にご覧いただけるようご協力ください。

TEL 077-522-1231 (代表)

Eメール x0022@police.pref.shiga.jp